



## 2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年10月18日

上場会社名 ゲンダイエージェンシー株式会社

上場取引所 東

コード番号 2411 URL <http://www.gendai-a.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 山本 正卓

問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 高 秀一

TEL 03-5308-9888

四半期報告書提出予定日 2019年10月31日

配当支払開始予定日

2019年12月9日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	5,768	△8.0	285	△32.3	253	△45.1	24	△91.8
2019年3月期第2四半期	6,272	△8.8	421	△2.3	461	2.7	299	△4.2

(注)包括利益 2020年3月期第2四半期 △20百万円 (△107.8%) 2019年3月期第2四半期 266百万円 (△7.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	1.63	—
2019年3月期第2四半期	19.88	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	7,493	5,412	71.9	358.11
2019年3月期	8,093	5,628	68.7	369.33

(参考)自己資本 2020年3月期第2四半期 5,389百万円 2019年3月期 5,558百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	12.00	—	13.00	25.00
2020年3月期	—	12.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	13.00	25.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,000	△8.9	510	△27.6	480	△31.5	160	△63.2	10.63

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(2019年10月18日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。当社は年次での業績管理を行っておりますので、第2四半期(累計)の連結業績予想の記載を省略しております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	15,050,000 株	2019年3月期	15,050,000 株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	— 株	2019年3月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	15,050,000 株	2019年3月期2Q	15,050,000 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等へのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2「1.当四半期決算に関する定性的情報(1)経営成績に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

決算説明資料はTDnetで同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
3. 補足情報	9
(1) 生産実績	9
(2) 受注状況	9
(3) 販売実績	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における日本経済は、雇用・所得環境の改善が続く中、個人消費も緩やかに持ち直しの動きが見られ、穏やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、通商問題の動向が世界経済に与える影響や、中国経済の先行きなど海外経済の不確実性や、消費税率の引き上げに対する心理的影響により、依然として不透明な状態が続いております。

当社グループの主要顧客であるパチンコホール業界においては、ユーザーの参加頻度や投資金額が減少した結果、収益面で厳しい状況が続いております。また、昨今の依存問題対策や射幸性抑制を目的とした業界規制の強化の流れを受け、先行きに不安を感じるホール企業は増加傾向にあり、業界全体で新規出店、店舗リニューアルや新遊技機の購入といった投資意欲は、過去と比較しても著しく減退しつつあることがうかがえます。

こうした厳しい環境下で、当社グループでは主力の広告事業において、特定業界に過度に依存しない収益の多様化を方針として掲げ、パチンコホール以外の分野の市場開拓を進めております。フィットネス業界向け広告領域における拡販や、デザイン受託業務の強化、インターネット求人広告の取扱い等により、収益の底上げに向けた取り組みを進めてまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は5,768百万円（前年同期比8.0%減）、営業利益は285百万円（同32.3%減）、経常利益は253百万円（同45.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、減損損失112百万円等の特別損失を計上したことにより24百万円（同91.8%減）となりました。

なお、セグメント別の状況は以下のとおりであります。

#### (広告事業)

当第2四半期連結累計期間におけるパチンコホール広告市場は、パチンコホール企業における収益性悪化を要因とする広告予算の削減が続いたことに加え、新台入替の頻度が減少したことによる告知需要の減少もあり、広告需要は著しく低迷する状況にありました。さらに、新規出店意欲の減退もあり、例年と比較しても、新規出店は極端に少なかったことから、大型の新規出店告知需要は減少いたしました。

こうした環境下において、当社グループでは、パチンコホール向け広告分野においては、従来の紙媒体広告からインターネット広告への段階的なシフトによる収益構造の転換を図るべく、自社メディアである「パチ7」やDSP広告「パチアド」を中心としたインターネットメディアへのシフトを推進するとともに、需要に応じた営業体制の最適化の観点から、パチンコ以外の広告分野への人的資源のシフトを開始しました。

パチンコホール以外の広告分野においては、フィットネス業界向け広告領域における営業強化、オンラインデザイン受託サイト「アドラク！」を中心としたデザイン受託業務やインターネット求人広告の販売強化を実施してまいりました。

なお、パチンコホール広告以外の広告分野における市場開拓には相応の時間を要するものと見込まれる一方、パチンコホール広告分野の需要減退が大きく影響したことから、売上高は5,656百万円（前年同期比8.7%減）、セグメント利益は501百万円（同20.6%減）となりました。

#### (不動産事業)

当第2四半期連結累計期間においては、連結子会社(株)ランドサポートにおいて、2017年2月に新規取得した千葉県柏市の土地の賃貸案件に加えて、パチンコホールM&A案件や賃貸物件仲介案件（50百万円）を成約いたしました。

その結果、売上高は75百万円（前年同期比46.5%増）、セグメント利益は44百万円（同25.1%増）となりました。

#### (その他)

当第2四半期連結累計期間においては、東南アジアにおける電子カジノ運営受託事業を手掛けるシンガポール連結子会社GDLH Pte. Ltd.（以下、GDLH社）において、カンボジア、パイリン地区及びポイペト地区のカジノにおけるスロットマシンオペレーション業務を受託し、運営しております。当第2四半期連結累計期間においては、運営受託中のカジノ施設における集客力低下の影響により、収益は伸び悩みました。

その結果、売上高は36百万円（前年同期比31.5%増）にとどまり、セグメント損失は、収益の低迷や初期投資の償却負担の影響等により99百万円（前年同期は77百万円の損失）となりました。

なお、東南アジアにおける電子カジノ運営受託事業については、営業赤字が継続しており、この先の見通しにおいても業績の大幅な改善は困難であると判断されることや、中古カジノマシン流通価格の下落により、当第2四半期において、GDLH社の保有マシンについて112百万円の減損損失を計上するに至った点を勘案し、2019年10月18日開催の当社取締役会において、本事業からの完全撤退の方針を決定しております。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は7,493百万円となり、前連結会計年度末比600百万円の減少となりました。これは、主に納税、利益配当等により現金及び預金が257百万円減少した他、GDLH社の保有マシンについて112百万円の減損損失を計上したこと等によるものであります。

(負債)

負債合計は2,080百万円となり、前連結会計年度末比383百万円の減少となりました。これは、主に借入金（長期含む）が170百万円減少した他、未払法人税等が99百万円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

純資産合計は5,412百万円となり、前連結会計年度末比216百万円の減少となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益24百万円を計上する一方、利益配当195百万円を実施したこと等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益108百万円を計上した他、主として減価償却費99百万円を計上したこと等により170百万円の収入（前年同期は515百万円の収入）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、主として固定資産取得による支出等△31百万円があったことから△26百万円の支出（前年同期は△333百万円の支出）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金（長期含む）の返済による支出△170百万円があった他、前連結会計年度決算に係る期末配当金の支払△195百万円があったこと等により△365百万円の支出（前年同期は△115百万円の支出）となりました。

これらの結果、現金及び現金同等物は当第2四半期連結累計期間において257百万円減少し、4,141百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する情報

当第2四半期連結累計期間において特別損失を計上をすることとなり、これまでの業績の進捗についても勘案の上、当期の業績予想を新たに見直した結果、2019年4月19日付「2019年3月期 決算短信[日本基準]（連結）」において発表いたしました2020年3月期の通期連結業績予想を修正しております。

詳細は本日別途開示する「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,405	4,148
受取手形及び売掛金	1,410	1,317
有価証券	53	152
その他	143	110
貸倒引当金	△3	△2
流動資産合計	6,009	5,726
固定資産		
有形固定資産		
土地	521	521
その他(純額)	463	272
有形固定資産合計	985	793
無形固定資産		
その他	100	92
無形固定資産合計	100	92
投資その他の資産	998	881
固定資産合計	2,084	1,767
資産合計	8,093	7,493
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	757	746
1年内返済予定の長期借入金	420	400
未払法人税等	166	67
その他	287	184
流動負債合計	1,631	1,397
固定負債		
長期借入金	800	650
資産除去債務	8	8
その他	24	24
固定負債合計	833	683
負債合計	2,464	2,080
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	751	751
資本剰余金	1,063	1,063
利益剰余金	3,759	3,588
株主資本合計	5,574	5,403
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△8	0
為替換算調整勘定	△6	△14
その他の包括利益累計額合計	△15	△13
非支配株主持分	70	22
純資産合計	5,628	5,412
負債純資産合計	8,093	7,493

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	6,272	5,768
売上原価	4,646	4,287
売上総利益	1,625	1,480
販売費及び一般管理費	1,204	1,195
営業利益	421	285
営業外収益		
受取利息	1	1
有価証券利息	1	1
受取配当金	1	1
為替差益	39	—
その他	2	6
営業外収益合計	45	10
営業外費用		
支払利息	1	2
為替差損	—	37
その他	2	2
営業外費用合計	4	42
経常利益	461	253
特別損失		
投資有価証券評価損	—	31
減損損失	—	112
特別損失合計	—	144
税金等調整前四半期純利益	461	108
法人税、住民税及び事業税	184	141
法人税等調整額	△5	△11
法人税等合計	178	129
四半期純利益又は四半期純損失(△)	282	△21
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△16	△45
親会社株主に帰属する四半期純利益	299	24

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	282	△21
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1	9
為替換算調整勘定	△17	△9
その他の包括利益合計	△16	0
四半期包括利益	266	△20
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	286	26
非支配株主に係る四半期包括利益	△20	△47

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	461	108
減価償却費	87	99
のれん償却額	1	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△2	△0
受取利息及び受取配当金	△3	△4
支払利息	1	2
為替差損益 (△は益)	△39	37
減損損失	—	112
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	31
売上債権の増減額 (△は増加)	21	92
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△10	13
仕入債務の増減額 (△は減少)	△65	△11
その他	33	△90
小計	484	391
利息及び配当金の受取額	6	7
利息の支払額	△2	△2
法人税等の支払額	△10	△227
法人税等の還付額	37	0
営業活動によるキャッシュ・フロー	515	170
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△247	△12
無形固定資産の取得による支出	△23	△19
投資有価証券の取得による支出	△110	△0
投資有価証券の売却及び償還による収入	50	—
敷金及び保証金の差入による支出	△8	—
敷金及び保証金の回収による収入	5	1
その他	0	4
投資活動によるキャッシュ・フロー	△333	△26
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△200	—
長期借入れによる収入	400	—
長期借入金の返済による支出	△120	△170
配当金の支払額	△195	△195
財務活動によるキャッシュ・フロー	△115	△365
現金及び現金同等物に係る換算差額	27	△36
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	93	△257
現金及び現金同等物の期首残高	3,949	4,399
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,042	4,141

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	広告事業	不動産事業	計				
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	6,193	51	6,244	27	6,272	—	6,272
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	0	0	—	0	△0	—
計	6,193	52	6,245	27	6,273	△0	6,272
セグメント利益又は損失 (△)	631	35	666	△77	589	△168	421

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業のセグメントであり、東南アジアにおけるカジノ運営事業、ストレージ事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△168百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△168百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	広告事業	不動産事業	計				
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	5,656	75	5,731	36	5,768	—	5,768
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	5,656	75	5,731	36	5,768	—	5,768
セグメント利益又は損失 (△)	501	44	545	△99	446	△161	285

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業のセグメントであり、東南アジアにおけるカジノ運営事業、ストレージ事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△161百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△161百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

### 3. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

該当事項はありません。

(2) 受注状況

当社グループの商品・サービスは、受注から納品までの期間がきわめて短いため、記載を省略しております。

(3) 販売実績

当第2四半期連結累計期間の販売実績を報告セグメント別に示すと、次のとおりであります。

報告セグメント	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日) (百万円)	前年同期比 (%)
広告事業		
折込広告	2,309	88.3
インターネット	1,238	86.0
媒体	699	88.9
販促物	630	95.4
クリエイティブ	392	140.8
その他	385	94.1
広告事業計	5,656	91.3
不動産事業	75	146.5
その他	36	131.5
合計	5,768	92.0

(注) 上記の金額には消費税等は含まれておりません。